

殺虫剤

クロルピリホス粒剤

サンケイダースバン™ 粒剤

農林水産省登録 第19621号

性状：類白色細粒

毒性：劇物

有効年限：4年

包装：3kg袋×6、10kg袋×2

有効成分：クロルピリホス（PRTR・1種）・・・・・・・・・・3.0%

TM:ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標

特長

- 本剤は、有機りん系殺虫剤クロルピリホスを有効成分とする土壌害虫防除用の薬剤です。
- 害虫に対し接触毒、食毒として速効的に作用し、かつ残効性にも優れるので、土壌害虫に安定した効果を発揮します。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	10アール当たり 使用量 (原液として)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピリホスを含む 農薬の 総使用回数
かんしょ	ハリガネムシ類	9kg	植付時	2回以内	全面土壌混和 又は植溝土壌混和	2回以内
	コガネムシ類		生育期 但し、収穫 30日前まで		全面散布	
	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ	6kg			株元散布	
だいこん	クスジノミハムシ	9kg	は種時	1回	播溝土壌混和	1回
	タネバエ	6～9kg				
さとうきび	ハリガネムシ類	9kg	植付時	1回	植溝土壌混和	1回
つつじ類	コガネムシ類				作条処理土壌混和	

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 植付時に全面処理、植溝処理または作条処理し、土壌中に均一に分布するようによく混和してください。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の点に注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設等では使用を避けてください。なお、ミツバチを放飼する場合は散布後、1日以上たってから行なってください。
 - 養蜂が行なわれている地域では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤の解毒剤としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤が有効であると報告されています。
- 使用の際には農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

水産動植物に関する注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

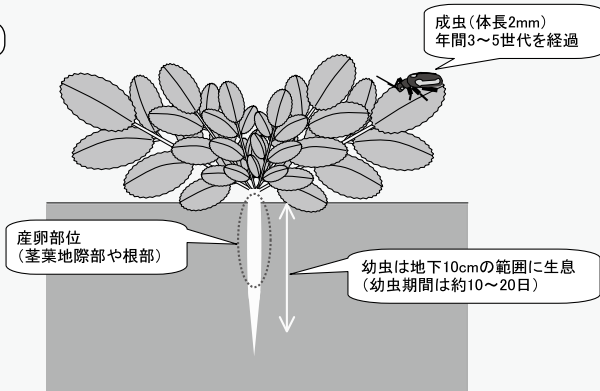
ダズバン粒剤技術情報

ダズバン粒剤の作用性

接触毒、食毒として速効的に作用し、また残効性にも優れるので土壌害虫に安定した効果を発揮します。

だいこんを加害するキスジノミハムシ、タネバエの生態と防除

生態と被害



アブラナ科植物のみに寄生し、アブラナ科野菜を連作すると発生量が多くなる傾向にあります。

成虫はダイコンの本葉がはじめてから食害します。食害痕は1mm前後の丸形で、葉が生長すると裂孔状になります。幼虫による根部の食害は、初期生育を阻害したり、根部表面に食害痕を残したりするので、商品価値を低下させます。

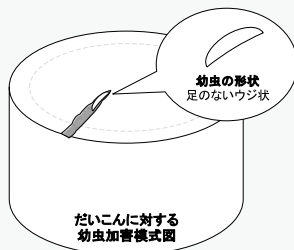
防除

本剤9kg/10aを、は種時に播溝土壌混和処理します。また、成虫に有効な茎葉散布剤を用いて発芽後1~2回程度体系防除すると、より効果的です。

タネバエの生態と防除

生態と被害

ふ化幼虫は土中に潜り、種子の子葉や初生葉を食害するため、発芽できずに腐敗し、出芽しても奇形となります。通常、幼虫の食入位置は地際部から深さ5cmまでですが、ダイコンの生育ステージなどによりさまざまな位置に食痕ができ、根の表面に対してほぼ直角に食入します。



タネバエ成虫イメージ(体長5mm)
湿り気のある土壌の間に、
長径約0.6mmの長楕円形をした
卵を点々と産み付ける



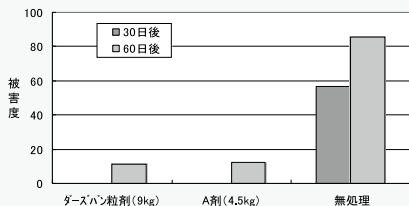
魚粕、大豆粕、鶏糞、未熟堆肥などの臭気の強い有機質肥料は
成虫を誘引するので、これら
を施用すると産卵されやすくなります。

防除

本剤を6~9kg/10a、は種時に播溝土壌混和処理します。また、未熟堆肥や鶏糞などの臭気の強い有機質肥料は成虫を誘引するので、は種時には使用せず、は種前に施肥するなど、使用時期をずらすことをおすすめします。

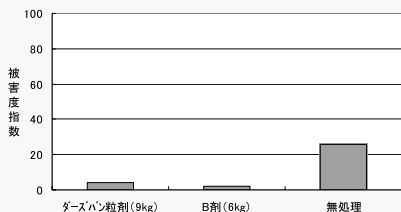
ダズバン粒剤の薬効試験成績

キスジノミハムシに対する効果



薬剤名横の括弧内の数値は10アールあたりの処理量を示す

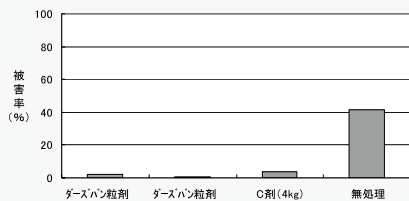
平成8年 石川県植物防疫協会
 試験地：石川県野々市町三納(一般圃場)
 発生状況：多発生
 作物名(品種)：だいこん(役者横丁)
 播種日：8月7日
 処理方法：8月7日に所定量の薬剤を播溝土壌混和処理
 調査方法：処理30日後、60日後に各区より20株の根部位を調査



薬剤名横の括弧内の数値は10アールあたりの処理量を示す

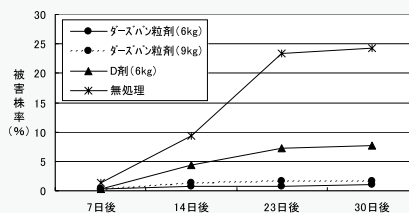
平成8年 新潟県高冷地農業センター
 試験地：中魚沼郡津南町
 発生状況：中～甚発生
 作物名(品種)：だいこん(夏天下)
 播種日：6月12日
 処理方法：6月12日に播溝土壌混和
 調査方法：処理30日後に幼虫による被害程度を調査

タネバエに対する効果



薬剤名横の括弧内の数値は10アールあたりの処理量を示す

平成11年 北海道植防協会
 試験地：札幌市清田区有明 北海道植防協会圃場
 発生状況：多発生
 作物名(品種)：だいこん(T-340)
 播種日：6月2日
 処理方法：6月2日に播溝土壌混和して播種、覆土
 調査方法：7月17日に全株について抜き取り、被害数を調査

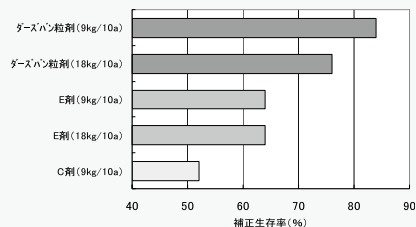


薬剤名横の括弧内の数値は10アールあたりの処理量を示す

平成11年 大分県肥料植物防疫協会
 試験地：大分県玖珠郡九重町
 発生状況：中発生
 作物名(品種)：だいこん(おしん:青首・春播き用)
 播種日：6月9日
 処理方法：6月9日に播溝処理し土壌混和
 調査方法：処理7、14、23、30日後に各区所定の50株について被害発生状況調査

有用生物に対する影響（ミミズ）

ミミズに対する影響



平成 10 年 サンケイ化学株式会社 社内試験
試験場所：埼玉県深谷市幡羅町
：サンケイ化学(株)研究室
供試虫：シママミズ
処理方法：1月13日所定量の薬剤を土壌と混和し、ミミズを放虫
調査方法：処理7日後(1月20日)にミミズの生死を調査



だいこんの
キスジノミハムシ
タネバエ

かんしょの
コガネムシ幼虫
ハリガネムシ幼虫

の防除に！